

もの忘れ

外来って どんなことするの？



■もの忘れ外来とは…

当院では、メンタルヘルス科において、「もの忘れ外来」を平成21年10月8日から開設しています。

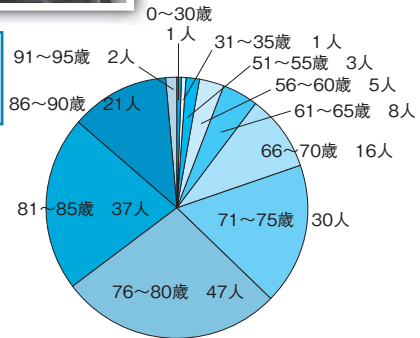
もの忘れの症状は誰でも経験があることですが、この中には年齢相応の病的ではない「もの忘れ」から▷アルツハイマー型認知症▷レビー小体型認知症▷血管性認知症▷前頭側頭型認知症などの病気のために出現するものまであります。

検査方法も以前に比べると進歩してきています。受診し、専門医による診察や検査を受けていただくことをお勧めします。



メンタルヘルス科
竹内診療部長が診察します。

もの忘れ外来
年齢別受診者数



■老化によるもの忘れと認知症のもの忘れの違い

老化によるもの忘れ

- 体験の一部を忘れる
- ヒントを与えられると思い出せる
- 時間や場所などの検討がつく
- 日常生活に支障はない
- もの忘れに対して自覚がある

認知症のもの忘れ

- 体験全体を忘れる
- 新しい出来事を記憶できない
- ヒントを与えられても思い出せない
- 時間や場所の見当がつかない、日常生活に支障がある
- もの忘れに対して自覚がない など

このような気になる症状が見つかったら…
もの忘れ外来の受診をお勧めします。

■診察から検査までの流れ

初診のみ毎週木曜日午後に行います。（診察と検査は合計4回予定しています）可能であればご家族も一緒に来院してください。

※もの忘れ外来は完全予約制になっています。予約をしていただき、なるべくかかりつけ医の紹介状を持参してください。

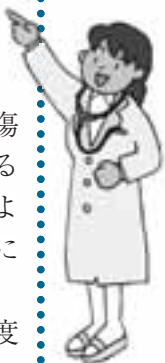
- 1回目 診察 CDR（Clinical Dementia Rating）
認知症の重症度の評価です。
一般検査、脳波、心電図、胸部写真など
- 2～3回目 診察 頭部MRI、頭部VSRAD、
SPECT、心理検査など
- 4回目 結果説明 一覧表にしてわかりやすく丁寧に説明します（診断表はお渡しします）。

これからの治療について、専門医とご本人、ご家族がじっくりと話し合うことができます。

～認知症（病気）だとわかることによって～

早期に認知症だとわかることによって、その人にあった治療が早くからできます。また、不用意に認知症の人のプライドを傷つけることや、経済的な損害を受けたりすることを防ぐことができます。さらに、薬による治療で病気の進行を遅らせることも可能になってきています。

ご家族で気になる点がありましたら一度「もの忘れ外来」の受診をお勧めします。



◆予約・問い合わせ先

市立中央病院別館1階 メンタルヘルス科外来
☎⑤121（内線3150）
受付時間 午後1時～5時（平日）